



一年のうちでもっとも寒い季節になりました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか？

インフルエンザも例年のごとく猛威をふるっています。インフルエンザで命を落とした方々もいらっしゃいます。予防注射が効かないという声も聞こえてきますから、この時期は特に疲れやストレスをためないで体調管理に努めたいですね。

さて、2月といえば節分ですね。今年は2月3日とのこと。実は節分は一年で4回あって、立春・立夏・立秋・立冬のそれぞれが始まる前日が節分とされています。中でも冬から春になる時期を一年の境目・大切な日と考え、豆をまいて鬼を追い払う行事として定着したのが2月の節分なのだそう。子どもの頃、家中の戸を明けて「鬼は外！福は内！」と大声で豆をまく父が偉大に見えたものです。聞こえなくなった今でもその時の声や笑顔が思い出せることに少し驚きます。季節の行事もお祭りも人が人と仲良くなるために、幸せを感じるひと時を共有するためにあるような気がします。ふと、昨年秋に長野県白馬に行った時を思い出しました。泊まらせていただいた宿のロビーには山や自然に関する本が置いてあり、「自然があって人がある」という文がありました。自然の美しさや厳しさの中で生かされている私たち人間がよりよく生きていくための知恵が、様々な季節の行事・伝統文化を作ってきたことに深く感動します。辛いことや理不尽なこと、人間関係の悩みや、どうしようもない無力感や、途方にくれる絶望感や喪失感など、人生の中で凹んだ時でも、ちょっぴり立ち止まって、自然を感じつつ、四季折々の節分をじっくりとゆっくり過ごしていければよいですね。

春はすぐそこに、急ピッチでやってきそうです。皆さまが荷物を背負いすぎないで歩いていけますように。ご病気の方がよくなりますように。安心して春を迎えられますように。施設長 森 せい子

聴覚障害者情報提供施設のお知らせ

手話サロン

申込不要・無料

日時：2/7(木) 13:30～15:00
3/7(木) //



会場：当センター地下研修室

手話で気楽におしゃべりを楽しみましょう。

※聞こえない家族がいる聴者は参加できます。

家族教室の開催

申込必要・無料

聴覚障害でこころに問題を持つ家族のいる方を対象とした教室です。精神科医・精神保健福祉士による対応方法を学んだり、参加者同士の分かち合いを行ないます。(昼休憩挟む)

日時：3月9日(土) 10:30～14:00

会場：当センター地下研修室

※蛇の目寿司事件とは？

昭和40年、蛇の目寿司店で客のろう者と聴者がケンカになり、止めに入った店主が亡くなった事件。ろう者や手話に対する社会からの見方が背景にあり、裁判での手話通訳の保障など様々なことが浮き彫りとなった事件。

日本語字幕付映画上映会

申込不要・無料

『四つの終止符』(1990年 107分)

ろうあ者を取り巻く差別的な状況を鋭く描いた作品。推理作家の西村京太郎が初の長編作品として1964年に刊行。当時「蛇の目寿司事件」が起り問題となっていた※

【茶話会付】

日時：2/28(木) 13:30～15:30

会場：当センター地下研修室



センター事業紹介 「文化教養講座 生け花」

月に1回程度、火曜日または土曜日に活動しています。午前は生け花の理論が中心で、講師の中村先生が手話で花型とその日の花材について丁寧に説明していただきます。午後はアシスタントの野崎さんのお手伝いもいただき、1本1本のお花に向き合い、丁寧にいけていきます。生けあがった頃には部屋には草花の香りが広がります。初心者から師範の資格を持つ方まで、いろんな方々が楽しく日本文化の一つである生け花を楽しんでいます。



★各講座のお問合せ・申込みはこちらまで★

(社福)聴覚障害者情報文化センター聴覚障害者情報提供施設 〒153-0053 東京都目黒区五本木 1-8-3

TEL: 03-6833-5004 FAX: 03-6833-5005

Eメール soudan@jyoubun-center.or.jp ウェブサイト http://www.jyoubun-center.or.jp/

【開館】火・水・木・土曜日 10時～17時 金曜日 10時～19時 【閉館】日・月曜日・祝日・年末年始

★FAX・メール通信の配信停止、配信方法の変更などありましたらお知らせください★